

平成22年4月より

ごみ処理手数料が変わります

ごみを減らし、二酸化炭素の排出を抑制しましょう



4月1日よりごみ処理手数料が変わります

の議会で可決されました。今後、ごみ処理事業のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

市内のごみ量の現状

ごみの種類を分析したところ、平成15年以降、資源ごみの量は減少していますが、燃えるごみの量は変化していません(グラフ1)。このままの状態が続くと、ごみの焼却量を減らしていくことができず、二酸化炭素も同じように排出されていきます。

二酸化炭素を減らしていかなければ、地球温暖化が進むなど、環境の悪化につながります。

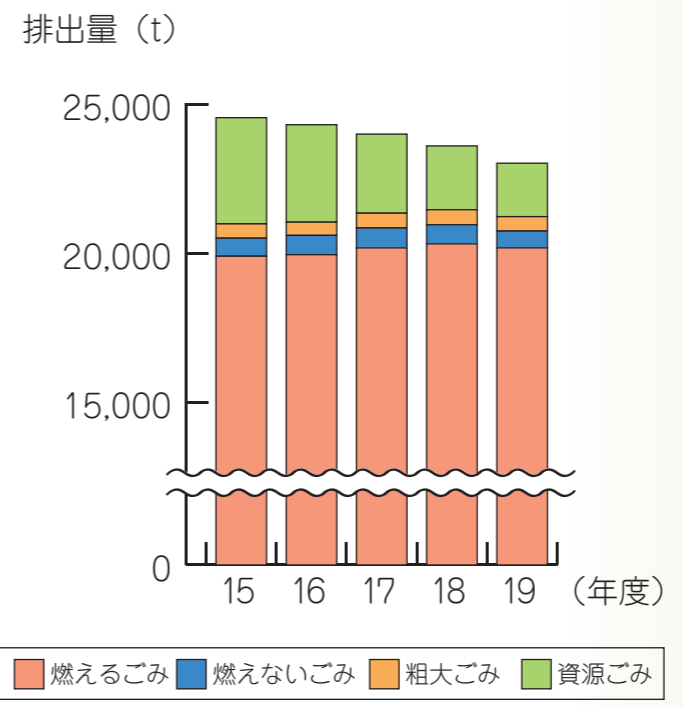
本市のごみ処理事業は、これまで環境の保全を視野に入れながら、ごみの減量やリサイクルなどに取り組んできました。平成7年度からは「指定ごみ袋」などをご購入いただくことで、市民の皆様のご協力の下に事業を推進してきました。

この度、ごみ減量化やリサイクルを推進し、よりいっそう環境へ配慮をしていくことを目標に、「指定ごみ袋」などのごみ処理手数料を平成22年4月1日から表1のように改定することが平成21年6月

表1 ごみ処理手数料

区分	改定前	改定後
指定ごみ袋(1枚あたり) 大	20円	25円
〃 中	17円	20円
〃 小	15円	改定なし
粗大ごみ処理券(1枚)	200円	300円
事業系ごみ処理手数料(1あたり)	2円	4円

グラフ1 浦添市の家庭ごみの量



今後の目標

増加している燃えるごみの中身は、飲料用パックや菓子箱・ティッシュ箱などの紙類が30~40%を占めています。これらの紙類をしっかりと分別し、また、生ごみの水分をしっかりと切ってから排出すれば燃えるごみを減らしていくことが可能です。

ごみの焼却によって排出される二酸化炭素の増加を抑えるためにも、ごみ減量・リサイクルに取り組ましましょう。

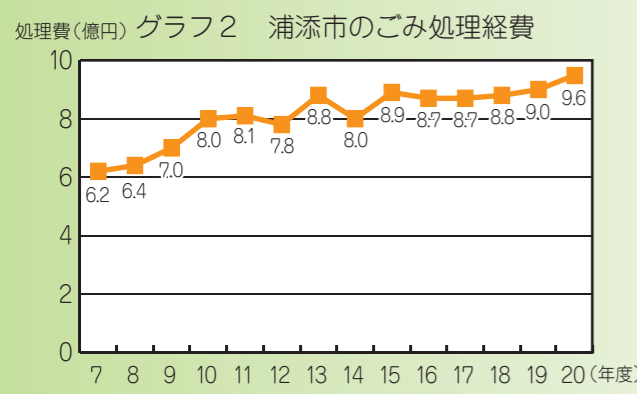
ごみ処理経費とごみ処理の流れ

ごみ処理経費とは、ごみを各家庭から収集し、その後、焼却したりリサイクルしたりするなどごみ処理全体にかかる費用です。現在のごみ処理経費は、平成7年と比べて約1.5倍となっており、3億円以上増えています(グラフ2)。

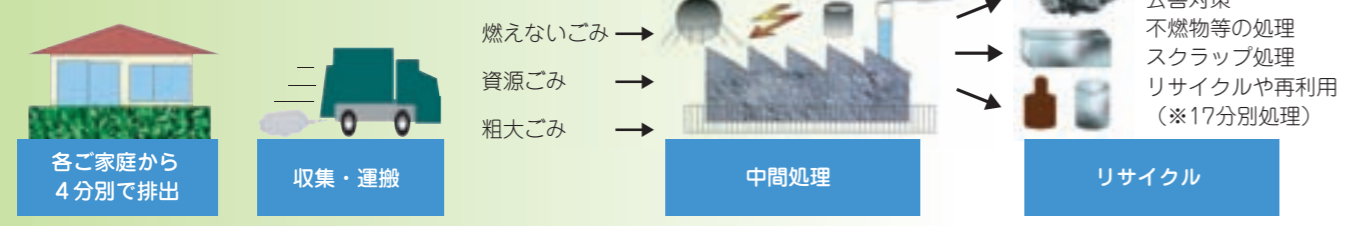
ごみを減らしていくことで、これらの処理経費を削減していくことができます。

今後は、これまで以上に地域の環境、地球環境の保全を視野に入れて、ごみの減量に取り組んでいく必要があります。これからも引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

みんなでごみの減量に取り組ましよう!

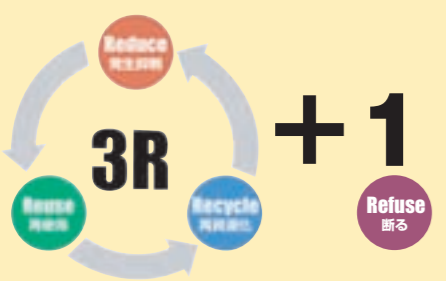


ごみ処理の流れ



4Rに取り組もう!

4R (①リデュース・②リユース・③リサイクル・④リフューズ) を実践し、ごみ減量に取り組ましよう。



- ① 必要の無いものは購入しない【リデュース】
- ② すぐに捨てず、使えそうなものは再利用する【リユース】
- ③ 分別をこれまで以上に強化し、リサイクルする【リサイクル】
- ④ マイバックを利用するなど、ごみになる物はもらわずに(買わずに)断る【リフューズ】

ごみ減量の例

- 燃えるごみの大部分を占めている紙類をしっかりと分別して、資源ごみとして排出する。
- 白色トレイ(刺身や肉などを入れてある白いパック)や携帯電話・電池など、回収をしている店舗がある場合は、そこへ持ち込み、リサイクルする。



問い合わせ
環境保全課
☎876-1234(内線3212)